施工説明書

TOTO

壁掛大便器取付スタンド

UTR865系

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

お取付前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示と意味

⚠警告	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。
⚠注意	傷害や物的損害※が発生する可能性がある内容です。
🛇	してはいけない禁止の内容です。
❗	必ず実行していただく強制の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⚠警告

禁止

所定の仕様を満たさない床コンクリートには施工しない
スタンドの転倒や便器の落下による、けがや壁材の破損の原因となります。
※本取付スタンドは、床への固定のみで壁掛大便器等の荷重を支えます。

指定以外の便器と組み合わせて施工しない
便器の破損、落下によるけがの原因となります。

必ず実行

スタンド設置面はできるだけ水平を確保し、不陸がない状態にする
設置面の不陸が大きいと、集中荷重がかかり床や本体破損の原因となります。

設計上の注意

床コンクリート仕様	圧縮強度20.6MPa以上
	鉄筋のかぶり厚50mm以上
	養生期間28日以上（アンカー施工時）
	壁掛大便器取付スタンドの周囲40mmの範囲は床コンクリートの開口や欠損禁止
ライニングの奥行寸法	250mm以上（仕上げ厚含む）
壁仕上げ厚	30mm以内（下地+仕上げ厚）
床仕上げ厚（注1）	60mm以内（標準便器高さの場合）

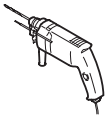
便器高さはスラブ面+370～440の範囲で取り付けることができます。
（注1） 便器高さを標準より高く取り付ける場合は、高くする寸法と床仕上げ厚の合計を60mm以内としてください。

（例:便器高さ床仕上げ面+420mmに取り付ける場合
便器高さ420mm−標準便器高さ380mm=40mm
60mm−40mm=20mm ➡ 床仕上げ厚20mm以内）

※壁掛大便器取付スタンドは、専用壁掛大便器セットとセットで使用します。

工具・部材

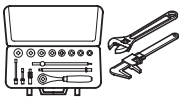
一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具・部材を用意してください。


振動ドリル

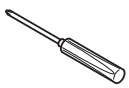
コンクリート用ドリルφ12.7

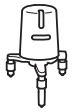
ホルソー

ダストポンプ


ソケットレンチ
モンキーレンチ
モーターレンチ

電動ドライバー
ビットサイズ:#2


ドライバー+
長さ:110mm以上


レーザー墨出器

部品の確認

■ 本体セット

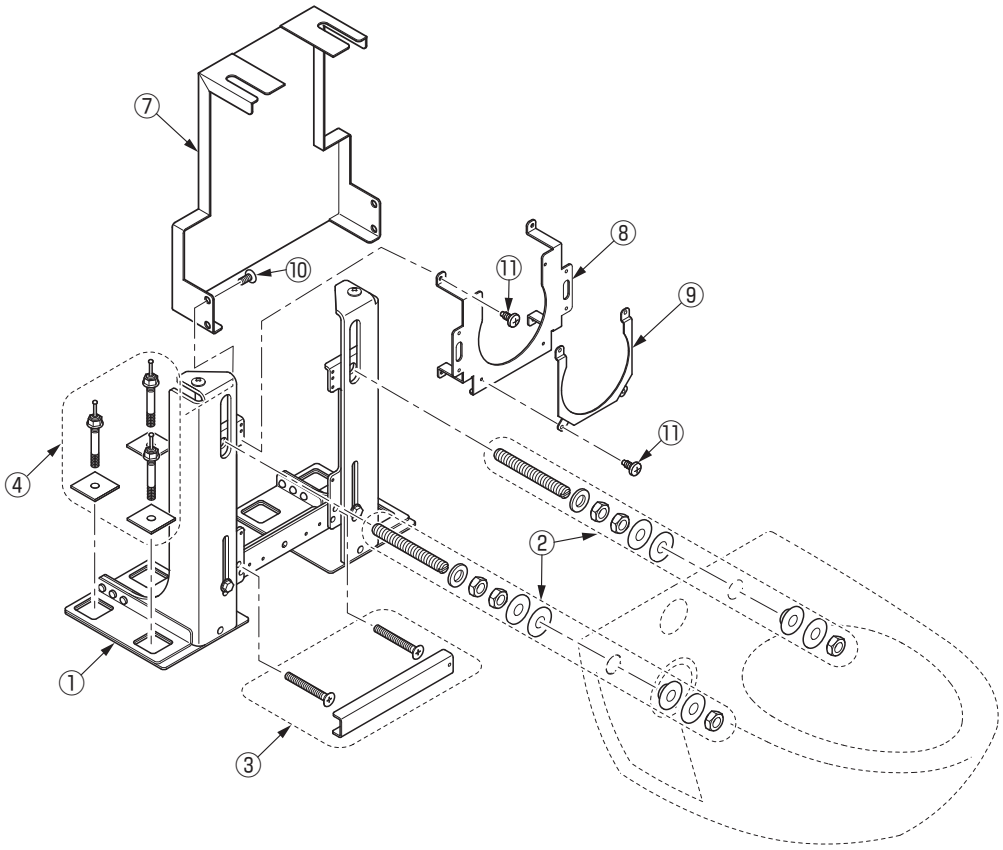
① スタンド本体	② 便器取付ボルトセット	③ 下部受け材セット	④ アンカーセット	⑤ 壁穴あけ用型紙
	（各2個）		（各6個）	

⑥ 施工説明書

■ 付属品セット

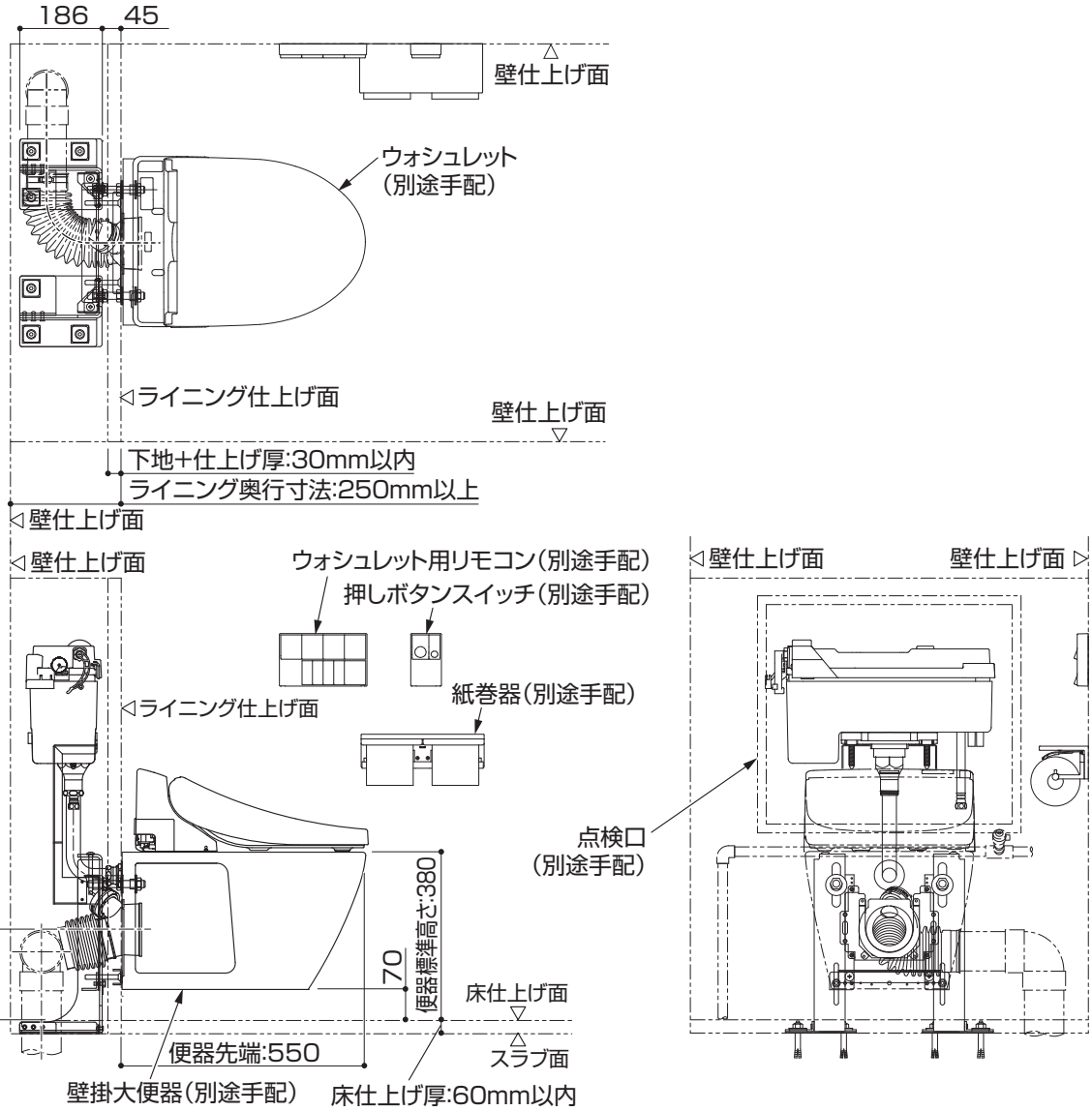
⑦ タンク支持材	⑧ 幕板	⑨ ソケット押え板	⑩ トラス小ねじ	⑪ バインドタッピンねじ
			M4×8（4本）	φ4×8（8本）

各部の名称



完成図

※本図は、標準高さ（FL+380）、排水継手：単独排水用（掃除口あり）を示します。



※ライニング点検口は現場にて別途手配してください。

施工手順

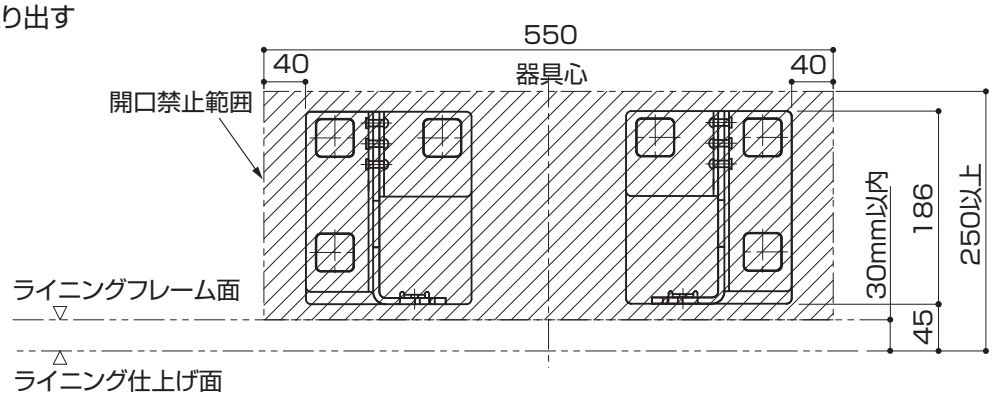
・納まりや施工手順を事前に十分検討し、各工程における他工事との連絡調整を行ってください。

設置工事 …壁掛大便器取付スタンド設置工事

STEP1 墨出し、給排水の取り出し
↓
STEP2 スタンド本体の設置 **設置工事**
↓
STEP3 ライニング内の給排水管の引き回し
↓
STEP4 止水栓の取り付け
↓
STEP5 フラッシュタンク支持材の取り付け **設置工事**
↓
STEP6 便器取付ボルト・下部受けボルトの仮付け **設置工事**
↓
STEP7 幕板・ソケット押え板の取り付け **設置工事**
↓
STEP8 ライニングフレーム設置
↓
STEP9 ライニング仕上げ材の開口、施工
↓
STEP10 便器取付部ボルト・下部受けボルトの位置調整、本固定 **設置工事**
↓
STEP11 下部受け材の取り付け **設置工事**
↓
STEP12 スパッド、排水パッキンの取り付け
↓
STEP13 大便器の取り付け
↓
STEP14 フラッシュタンクの取り付け
↓
STEP15 ウォシュレットの取り付け

STEP1　墨出し、給排水の取り出し

給排水管は、床開口禁止範囲（スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲）と軽鉄（LGSなど）を避けた位置から配管を取り出す



⚠警告

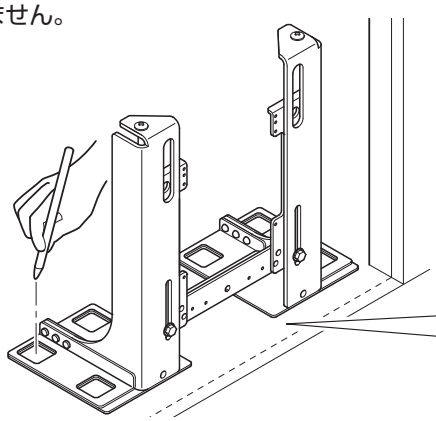
必ず実行

スタンドのベースプレートの周囲40mmの範囲に床コンクリートの開口や欠損がないことを確認する
アンカーの必要強度が得られないため、スタンドの転倒や便器の落下のおそれがあります。

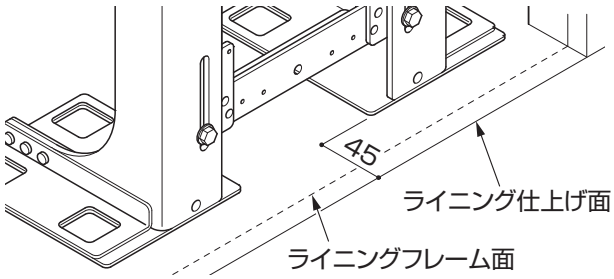
STEP2　スタンド本体の設置（アンカーの固定）　設置工事

①スタンド本体は、あらかじめ仮組みされていますので、床に出した墨に合わせてスタンド本体を仮置きし、アンカーの位置をマーキングする

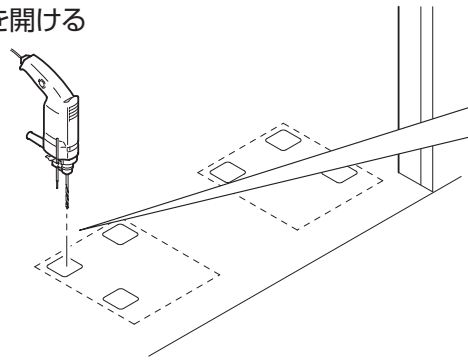
・ライニングフレームに軽鉄（LGSなど）を使用する場合は、スタンドと干渉する部分に軽鉄ライナーを設置することができません。



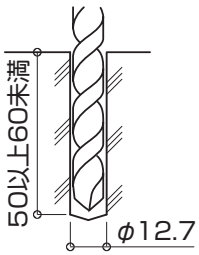
ライニング仕上げ面より45mm引っ込めてください。



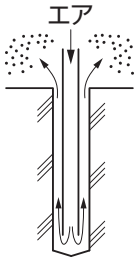
②下穴を開ける



ドリル径:φ12.7
下穴深さ:50mm以上
60mm未満



下穴の中の切粉をダストポンプなどで完全に除去します。



⚠警告

禁止

指定以外の径のドリルを用いたり、下穴深さが不足の状態で施工しない
強度不足による、スタンドの転倒や落下の原因となります。

必ず実行

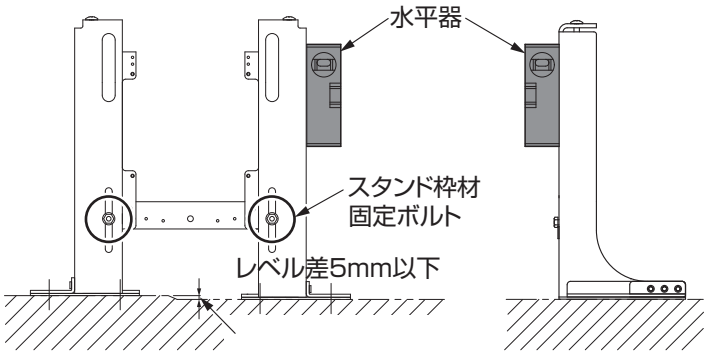
アンカーは穴あけ後、ダストポンプを使用して必ず穴の中の切粉を除去してから打ち込む
所定の強度を発揮できません。

STEP2　スタンド本体の設置（アンカーの固定:つづき）　設置工事

③スタンド枠材固定ボルトをゆるめて左右の柱材が垂直になるように下穴で合わせスタンド本体を置く

・左右の柱材のレベル差は5mm以下としてください。

垂直を確認！
（左右の柱各々について）



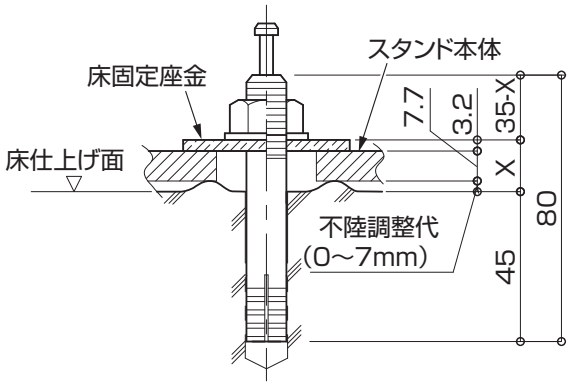
⚠警告

禁止

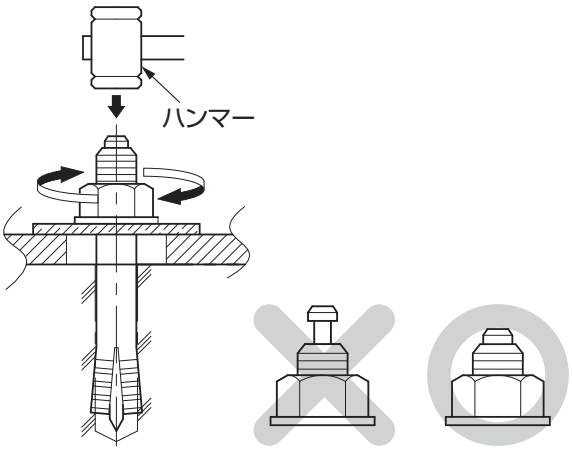
アンカー部分のベースプレートが浮いた状態で固定しない
アンカーの必要強度が得られません。ベースプレート接地面に不陸がある場合は、床コンクリートをレベル調整するか、スペーサー（現場手配）を用いて調節してください。

④ナットの位置を調節し、アンカー(M12)を挿入する

・ X=スタンド(t7.7)+床固定座金（t3.2）+ (不陸がある時は7mm以内)

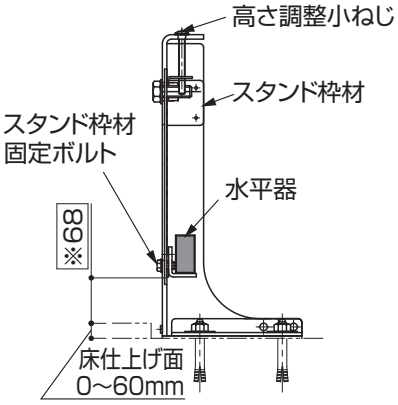


⑤心棒をハンマーで確実に打ち込みナットの増し締めする

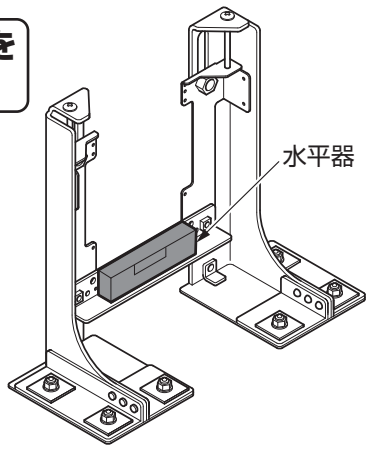


⑥高さ調整小ねじを用いてスタンド枠材の高さを調整する

・スタンド枠材が水平になっていることを確認してください。
・スタンド枠材下端が床仕上げ面から68mm（※）になるように調整してください。
　※便器高さをFL+380mmに設定する場合
・高さ調整後はスタンド枠材固定ボルトで本固定します。



水平を確認!



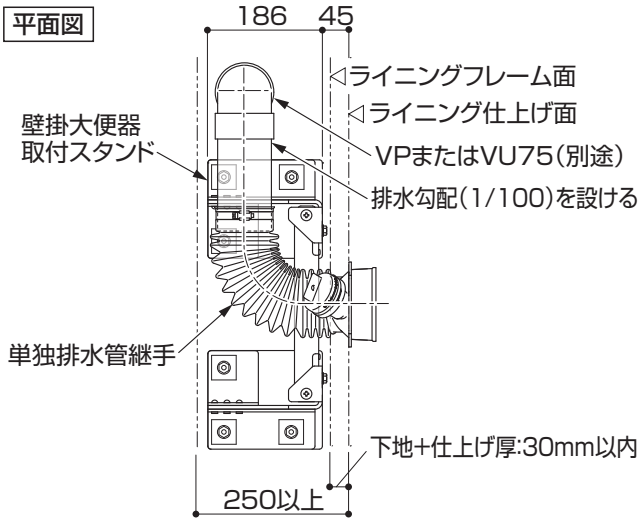
STEP3　ライニング内の給排水管の引き回し

ライニング内の給排水管の引き回しは商品図に基づいて所定の位置に給排水管の末端を引き回す

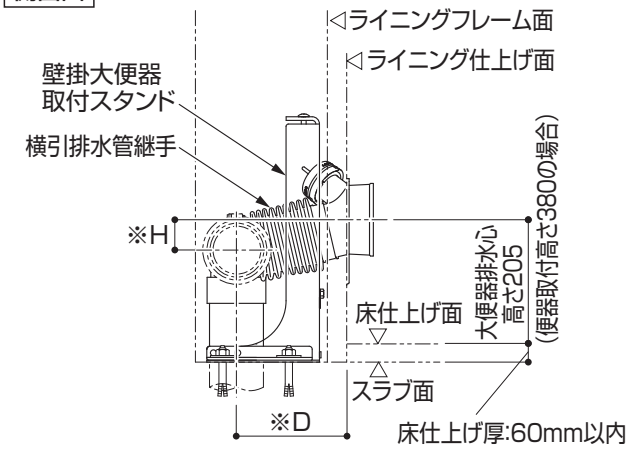
・給排水管は別途手配してください。
・排水管末端部には必ず専用の排水継手を使用してください。

床抜き配管の場合

平面図



側面図

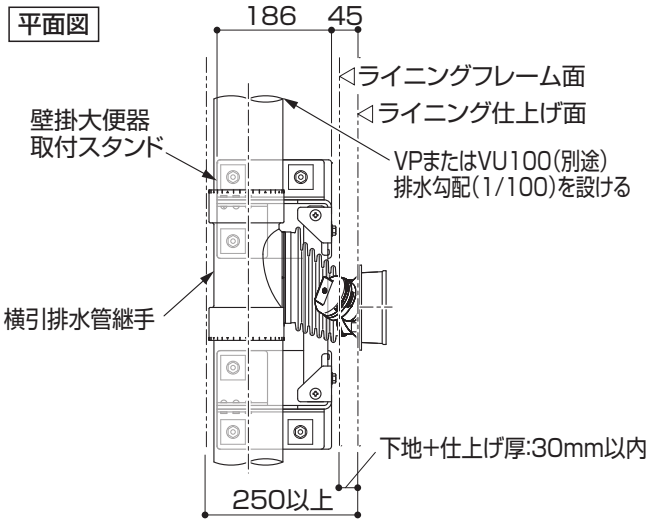


※ライニング仕上げ面～横引配管までの奥行き(※D寸法)や落差(※H寸法)については、排水継手同梱の施工説明書を参照してください。

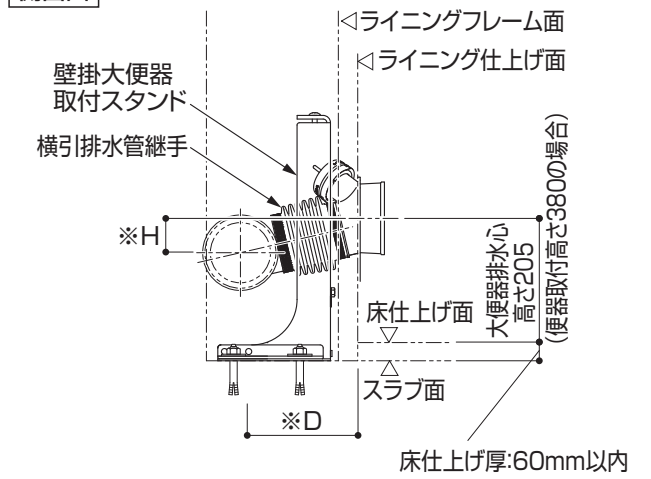
横引排水管継手を使用する場合

・横引排水管継手は、ライニングフレームを構成する下地材の奥行きがW75以下の場合に使用できます。

平面図



側面図

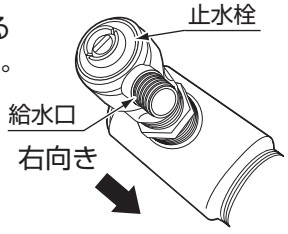


※ライニング仕上げ面～横引配管までの奥行き(※D寸法)や落差(※H寸法)については、排水継手同梱の施工説明書を参照してください。
※図は、横引排水管継手(別売品)を示します。

STEP4　止水栓の取り付け

フラッシュタンクに同梱の止水栓を取り付ける

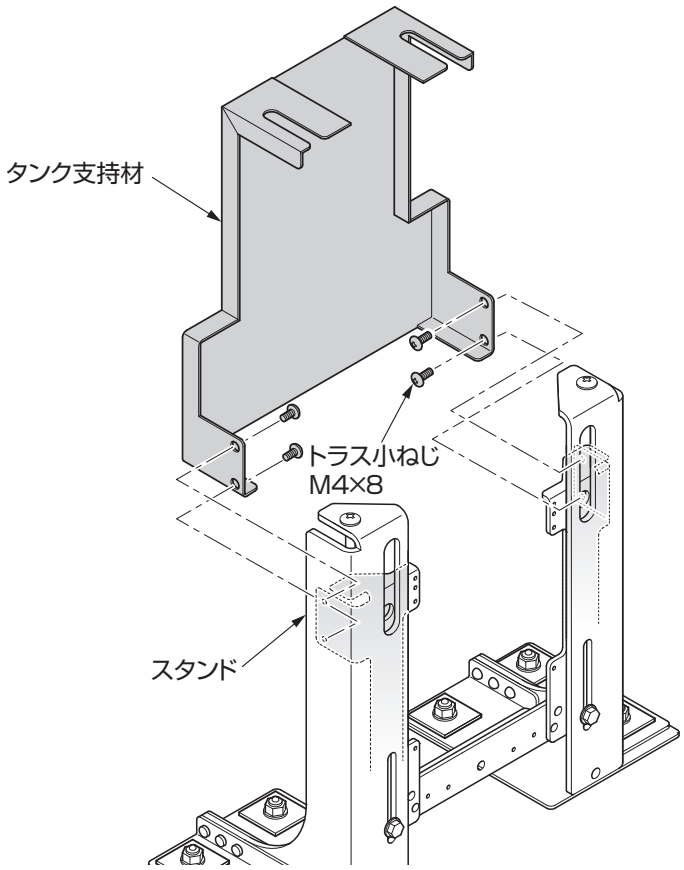
・右図に基づいて正しい向きで取り付けてください。



確認：斜め上方向に約45°立ち上げで、給水口は向かって右向き。

STEP5　フラッシュタンク支持材の取り付け　設置工事

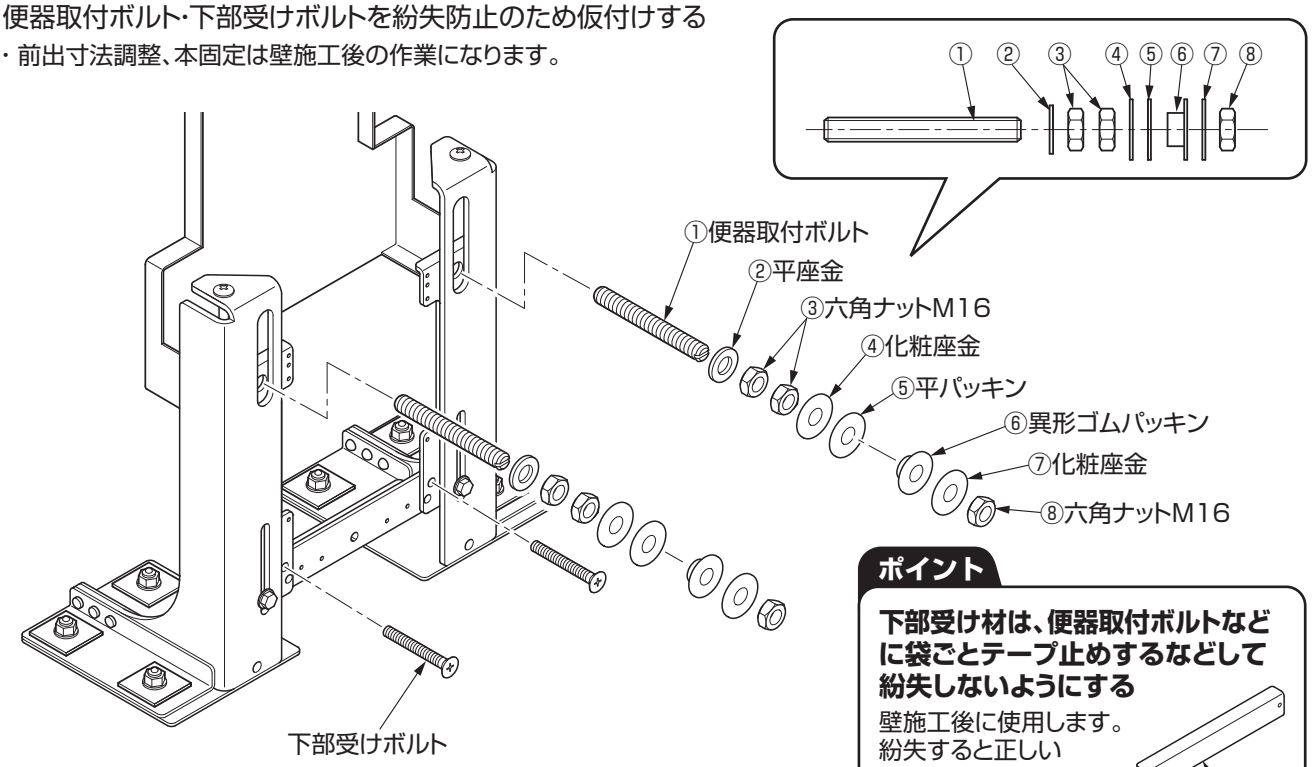
同梱のトラス小ねじM4×8で、タンク支持材をスタンドに取り付ける



STEP6　便器取付ボルト・下部受けボルトの仮付け　設置工事

便器取付ボルト・下部受けボルトを紛失防止のため仮付けする

・前出寸法調整、本固定は壁施工後の作業になります。



ポイント

下部受け材は、便器取付ボルトなどに袋ごとテープ止めするなどして紛失しないようにする

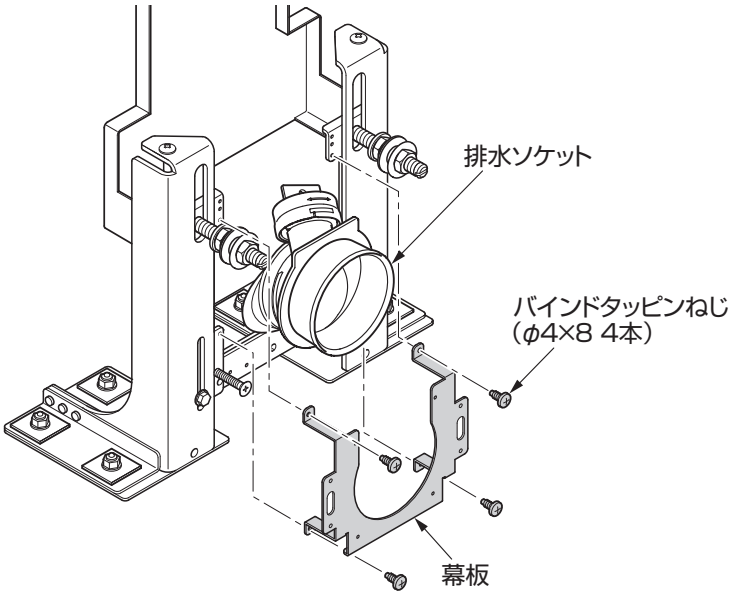
壁施工後に使用します。
紛失すると正しい
取り付けができません。

下部受け材

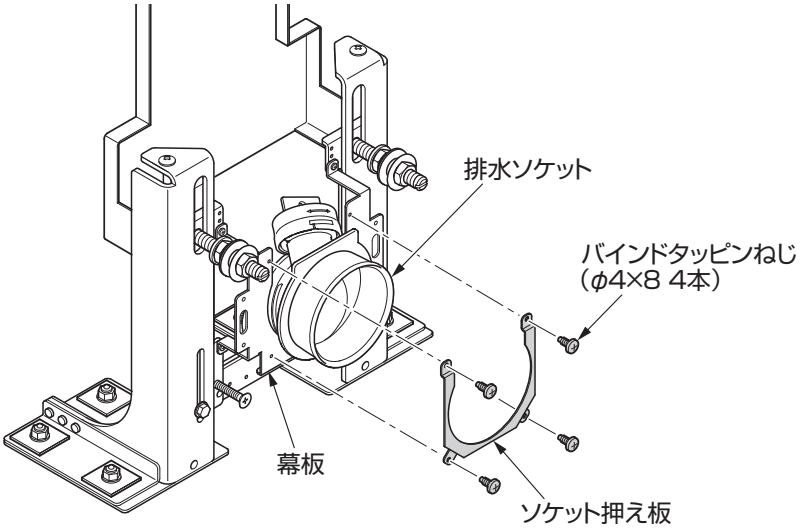
STEP7　幕板・ソケット押え板の取り付け

設置工事

①設置した排水ソケット部を手前に引き出し、幕板のスリット部に排水ソケットを上から勘合させて、
付属のバインドタッピンねじ（φ4×8 4本）によりスタンドに固定する



②ソケット押え板を排水ソケットにかぶせて、バインドタッピンねじ（φ4×8 4本）により幕板に固定する



**ここでいったん設備工事が終わり、
電気工事およびライニングの組み立てを行います。**

STEP8　ライニングフレーム設置

※ライニングを組み立てる前にあらかじめスラブに器具心の墨を出しておいてください。
※ライニングフレームに軽鉄（LGSなど）を使用する場合は、スタンドの周囲は適切な開口補強を行ってください。
※電源工事は壁仕上げ前に行ってください。
※専用ライニングに設置する場合は、専用ライニング同梱の施工説明書にしたがって、フレーム・コンセントを設置してください。

STEP9　ライニング仕上げ材の開口、施工

※ライニング正面および上面には、フラッシュタンクなどの取り付けおよびメンテナンスができるよう、必ず必要サイズの点検口を設けてください。
詳細は商品図面を参照してください。

※下地貼り、穴あけなど、工事範囲や手順を事前に打合せ調整してください。

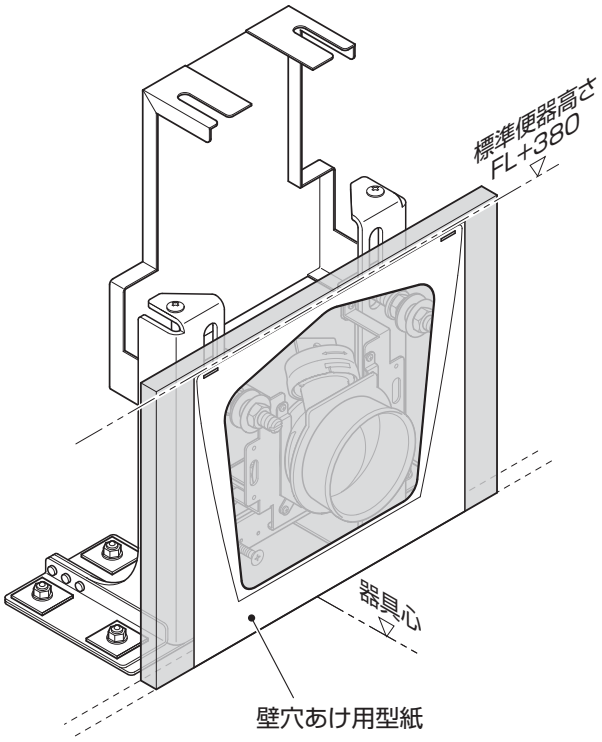
※停電時洗浄レバーを取り付ける場合は、停電時洗浄レバー同梱の施工説明書を参照のうえ、取り付けを行ってください。

※専用ライニングに設置する場合は、開口作業は不要です。

ライニングフレームに仕上げ材を貼り付ける

・大便器設置部の壁材の所定位置に付属の型紙を貼り付け、開口を行います。
・使用方法の詳細は、同梱の型紙を参照してください。

開口位置



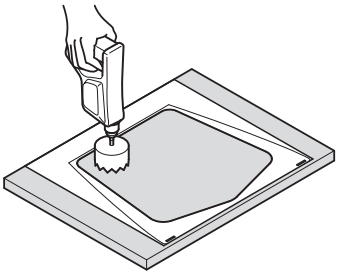
⚠注意

必ず実行

・**ホルソーなどで壁材に開口するときは、便器取り付け面に壁材を仮貼りして位置を出し、壁材を一度はがし平らな作業面で加工してから復旧する**
大便器スタンド本体にホルソーなどの刃先が当たり、
けがをするおそれがあります。
ジャバラを損傷して漏水のおそれがあります。

・**付属の壁穴あけ用型紙を必ず使用する**

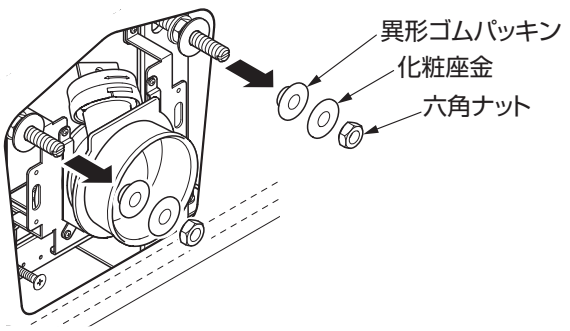
・**穴あけは壁穴あけ用型紙の指示通りの位置・大きさで必ず開口する**
穴が小さすぎると壁材が破損するおそれがあり取り付けができません。
穴が大きすぎると取り付け時に便器形状から穴がはみ出してしまいます。



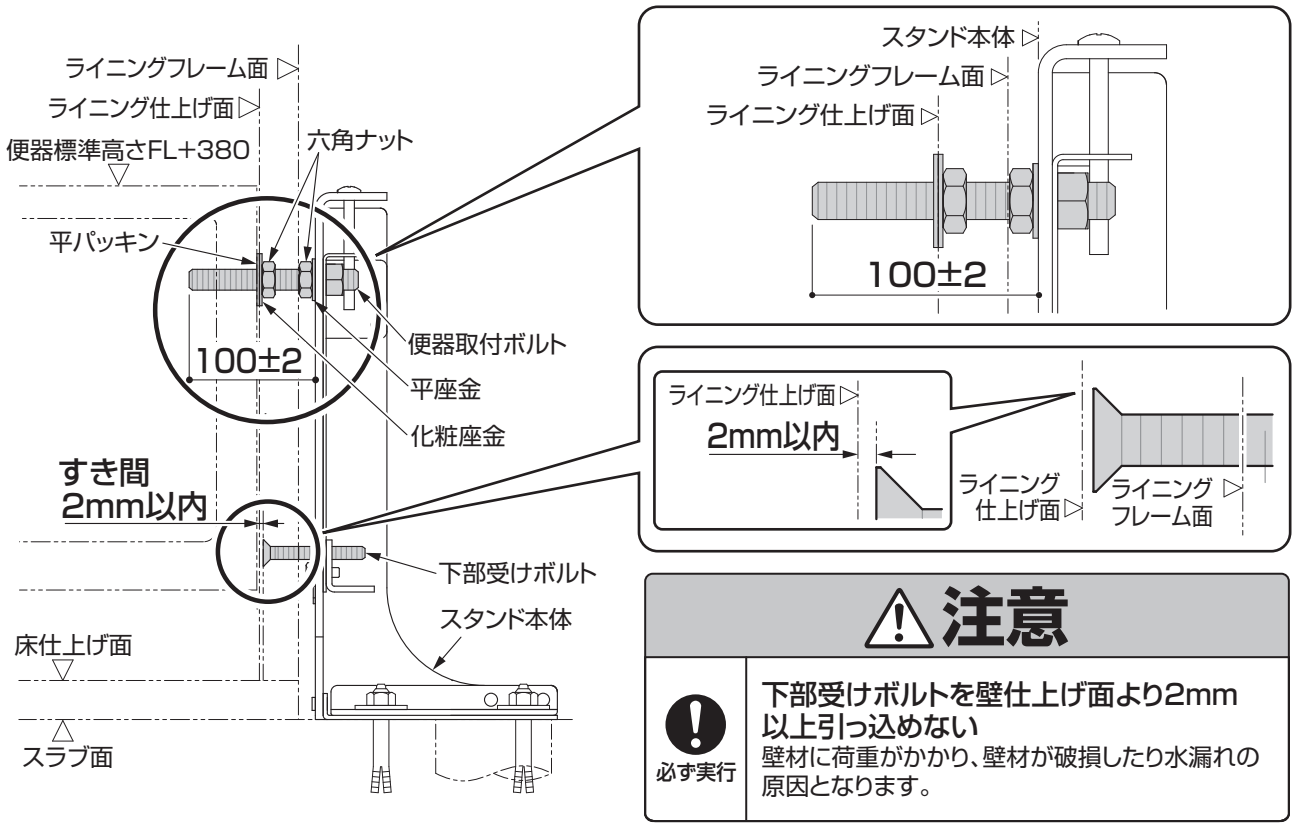
続いて点検口を開けて、設備工事（器具の取り付けなど）を行います。

STEP10　便器取付ボルト・下部受けボルトの位置調整、本固定　設置工事

①便器取付ボルトに仮付けしている異形ゴムパッキン・化粧座金・六角ナットをいったん取り外す（その他は取り外しません）



②スタンドの便器取付ボルト（左右2本）と下部受けボルトで便器を支持できるように便器取付ボルトと下部受けボルトの出寸法、および便器取付ボルト部のナット類を調整し本固定する



⚠注意

必ず実行

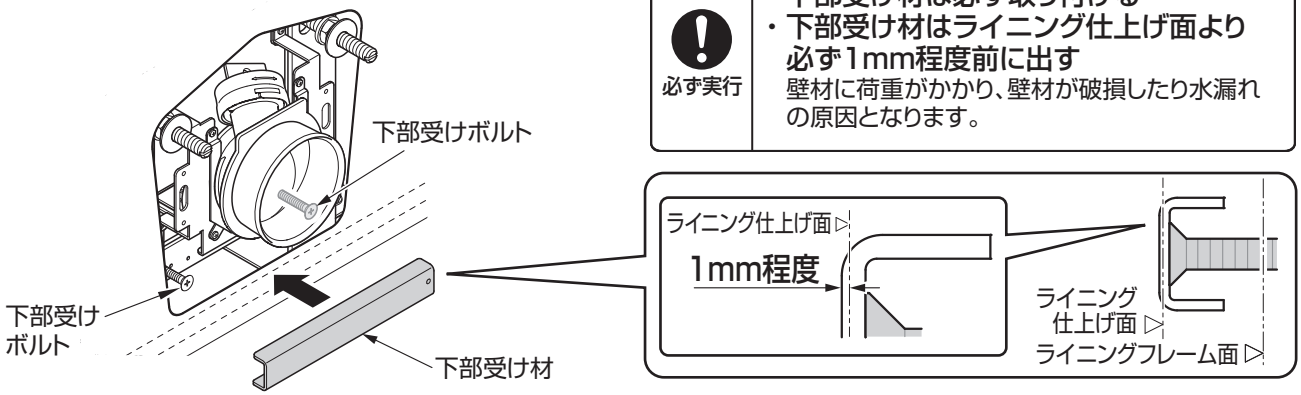
下部受けボルトを壁仕上げ面より2mm以上引っ込めない

壁材に荷重がかかり、壁材が破損したり水漏れの原因となります。

STEP11　下部受け材の取り付け　設置工事

下部受けボルトの表面に、下部受け材を両面テープで貼り付ける

※下部受けボルトの頭（下部受け材が貼り付く面）のほこりや油分をよくふきとってから貼り付けてください。



⚠注意

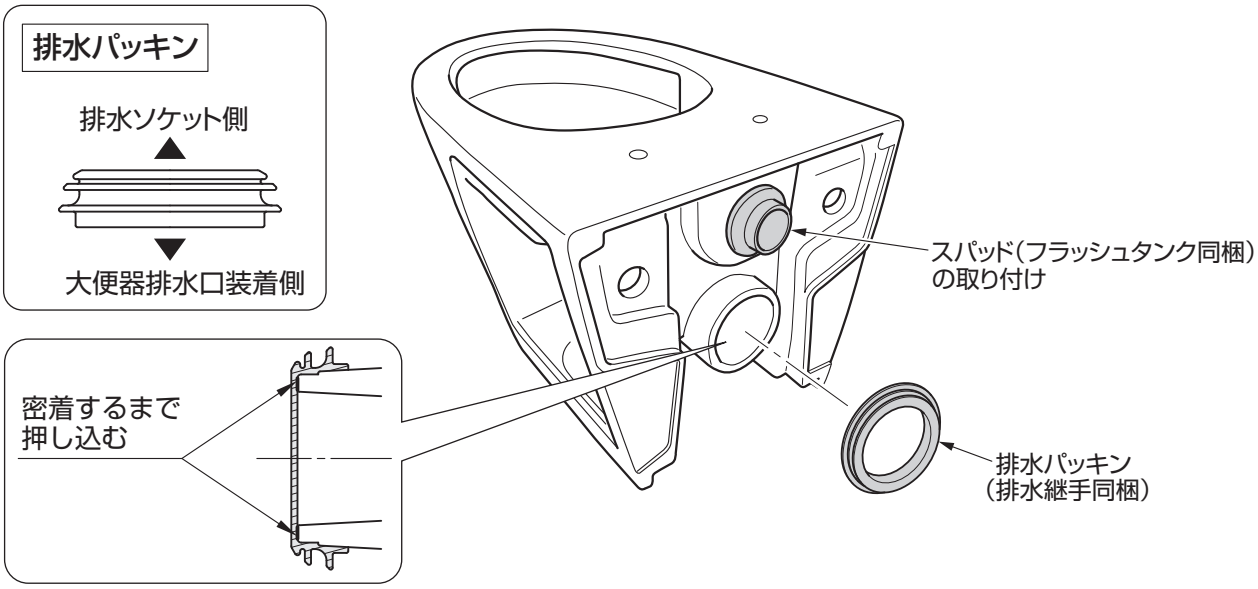
必ず実行

- **下部受け材は必ず取り付ける**
- **下部受け材はライニング仕上げ面より必ず1mm程度前に出す**

壁材に荷重がかかり、壁材が破損したり水漏れの原因となります。

STEP12　スパッド・排水パッキンの取り付け

①便器背面給水口にフラッシュタンク同梱のスパッドを取り付ける
②便器排水口外周のごみや水分などを除き、向きを確認し排水口に排水継手同梱の排水パッキンを装着する

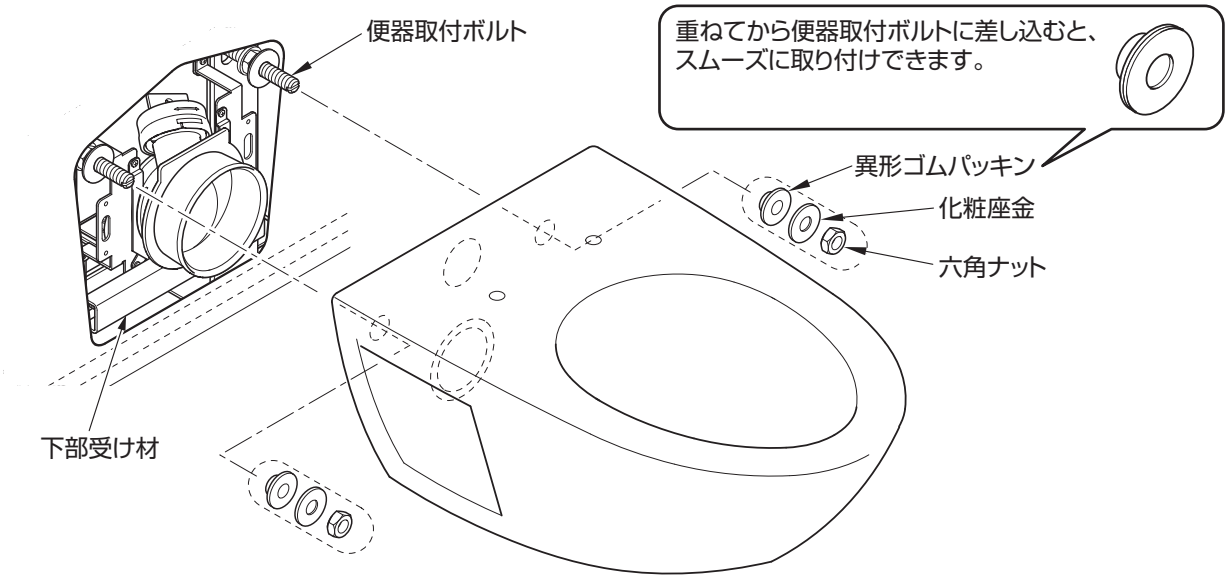


⚠注意

禁止	**グリスは使用しない** 劣化し水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。	必ず実行	**排水パッキン表面に必ず水または石けん水をつけてから差し込む** 水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害発生の原因となります。

STEP13　大便器の取り付け

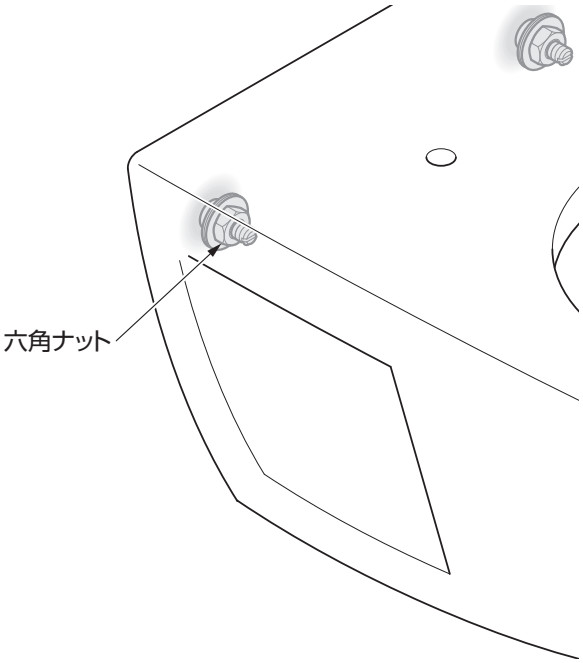
①大便器を静かに便器取付ボルトに差し込み、異形ゴムパッキン、化粧座金、六角ナットの順で仮止めする



便器下端を必ず下部受け材に接触させ、便器にかかる荷重を２本の便器取付ボルトと下部受け材で支持する

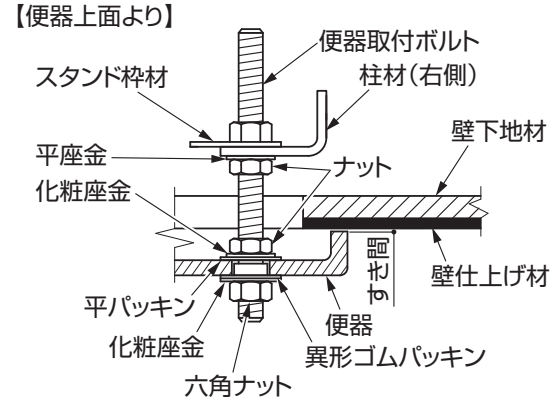
STEP13　大便器の取り付け:つづき

② 便器上面と前面板のすき間が2mm程度になるように表側から六角ナットを手で締め付ける
③ 裏側から六角ナットを手で締め付ける
④ 表側から工具で六角ナットを締め付ける
⑤ サイドカバーを取り付ける(サイドカバー付の場合)
※詳細手順は大便器同梱の施工説明書を参照してください。

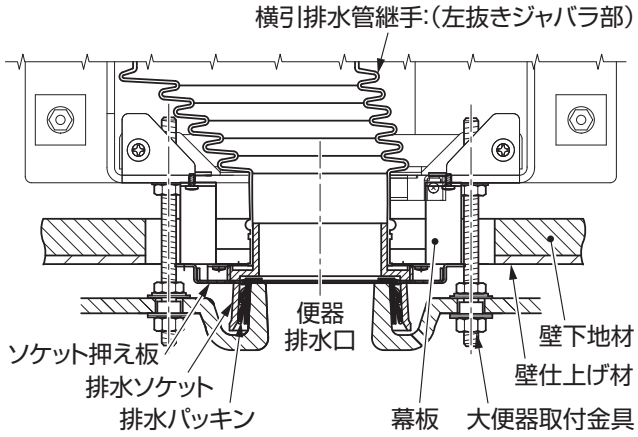


パッキンの擦れる音が発生したら、六角ナットを若干ゆるめる

便器取付ボルト部納まり



排水ソケット部納まり(横引排水管継手使用の場合)



STEP14　フラッシュタンクの取り付け

フラッシュタンクを取り付ける
※詳細はフラッシュタンク同梱の施工説明書を参照してください。

STEP15　ウォシュレットの取り付け

ウォシュレットを取り付ける
※詳細はウォシュレット同梱の施工説明書を参照してください。

取付後の確認

大便器にガタツキがないか確認する